

## 事業計画書

事業名	沼津駅南西エリアにおけるギャラリーショップを兼ねたコミュニティスペースの創出事業
実施場所	沼津市錦町3-20
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2024年 9月 9日 ～ 2024年 12月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

沼津市錦町にて、定期的に企画（展示やイベント）や間貸し、pop up での出店等のできるギャラリーショップを兼ねたコミュニティスペースとして多種多様な人が集う場づくりを行います。定期的に煎茶を提供するティーサロンとして活用する他、アート、音楽、本、といった「文化」を軸とし、アーティストや市内外の店舗とのコラボレーションや、新たに出店を考える新規事業者のトライアルの場としての活用を予定しています。また、近隣店舗等と連携し、エリアとしての情報発信のための企画等を実施していきます。

## ◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

沼津市にリターンしてから約3年にわたり、まちなかの空きビルの活用や公共空間の活用、公園での新たな日常をつくる取り組みや環境を軸としたコミュニティスペースづくり、地域の文化進行事業等、多角的にまちの環境づくりに携わるなかで、他地方と同様に人々の「まちばなれ」が進むなかでも多くの個店の魅力によってこのまちのアイデンティティが形成されていることを実感し、その一つとして、自身も新たな場所づくりを行うに至った。昨年度の沼津市添地町におけるまちなか居住促進事業でのエリアリサーチや今後の駅周辺開発の流れをふまえ、新旧多くの個人の飲食店をはじめ古着屋や雑貨屋、ギャラリー等が雑多に点在しながらも、人の流れが少ない沼津駅南西エリアに、新たな人の流れを生み出す一端を担うことができばとの思いで、今回の場づくりを進めていきたいと考える。

## ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。

2024年 8月上旬 9月上旬	解体工事開始予定 工事開始予定 SNSにて情報発信開始
12月上旬 12月中旬	竣工 飲食営業許可取得完了 プレオープン予定
2025年 1月上旬	グランドオープン予定 ・pop up shop 出店スタート ・展示企画の実施 ・お茶サロンの運営開始 ・利用希望者受付

### ◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載してください。</p> <p>ギャラリーでの展示や複数店舗の出店によって、当該地域における新たな人の流れを生み出すと共に、今後繋がっていく交流の機会の創出やコミュニティの形成を図る。また、周辺における空き物件の活用の流れを生み出す機運を高めていく。</p> <p>現状、物件周辺は高校生や外国人留学生等の通行も多く、気軽に立ち寄ることのできるオープンな場をつくることで、周辺住民にとっても、地域への愛着の向上が図られることを期待する。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>開業後来訪者数：150名/月</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>利用者数のカウント</p>

### ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>昨年度に携わったまちなか居住促進事業の添地周辺エリアリサーチにおいて、各事業からの意見として、エリア全体において人の来訪が少ないという声が多くであった。また、自身が実際にエリアに物件を借り周辺住民と話すなかでも同様の話を聞く機会があり、今後沼津駅の高架化に伴い西側エリアの開発が進むことを踏まえ、エリアとして「まちを訪れたいくなる」きっかけとなるような拠点が増えていく必要があると考え、トライアル等で出店する事業者にとっても同エリア周辺での出店を考える新たなきっかけとなるような拠点の創出を目指す。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>近年、当該エリアには新たに店舗やギャラリー等を開業する20-40代の事業者が少しずつ増えていることから、各店舗との接点を生み出し、既に長年にわたって店舗を営んできた事業者らと連携を図り、エリアとしてのポテンシャルを共に高めていく。</p> <p>また、地域資源である蛇松緑道を起点に、港や中心市街地等の店舗等と連携しまちの回遊性を高める企画や情報発信を行う。</p> <p>来街者のみならず、市民が日常において来訪することのできる選択肢を可視化し、増やしていくことに繋げる。</p>
独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p>

	生まれ育った土地である沼津市を10年離れ、様々な土地に移住し地域再生や場づくりについて学び得た経験から、土地のアイデンティティーを生かすまちの在り方を考え、対象物件だけでなくエリアとしてのポテンシャルを高めていけるよう、他事業者や他地域との接点を増やす企画や日常的な取り組みを重ねていき、多角的なアプローチをおこなっていく。市外県外からのつながりも活かし、この土地、この場所で「待ち合わせ」のような文化を育てていく。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 改装については、段階を踏み今年度実施できる範囲でおこなっていく。適宜、協力を募りながら制作過程においても人を巻き込めるよう自主作業も含め進めていく。Pop up での出店や展示の企画では、個人のコーヒー店や書店、レコード店など、これまでに培ってきたご縁を活かしながら、運営開始後はさらに派生して繋げていけるよう進めていく。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 場づくりを行うにあたって、周辺店舗との共同企画やエリアブランディングを見据えた情報発信等によって、同エリア周辺での空き物件の活用につなげられるよう取り組みを進めていく。また、出店者やアーティスト等、多種多様な人を巻き込み共につくっていくことで、この地域における新たなコミュニティの広がりを生み出していく。

#### ◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺空き物件の連携活用とエリアマップの作成</li> <li>・エリアの情報発信</li> </ul>
---

#### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。</p>
--